

# IMASEN REPORT 17

## 株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
第81期の業績について、ご報告させていただきます。

### 第81期報告書

2017.4.1－2018.3.31

株式会社今仙電機製作所

〒484-8507 愛知県犬山市字柿畑1番地 TEL.(0568)67-1211(代表)

### 第81期のポイント

1. 北米では生産が減少したものの、国内、アジアでの生産増加により、売上高は前期比6.4%の増収となりました
2. 売上増加および原価低減推進により、営業利益は前期比22.9%の増益となりました
3. 経常利益の増加により、当期純利益※は前期比83.6%の増益となりました

代表取締役会長

若山 恭二



代表取締役社長執行役員

足立 隆



### 経営理念

想像力を豊かにし、これまでに存在しない全く新しい製品・サービスを創造し、これをより安く、より速く、世の中に提供することで、人々の豊かな暮らしに貢献いたします。

### 財務ハイライト第81期(2018年3月期)

詳細な財務情報は、当社のIRウェブサイトをご覧ください。 [www.imasen.co.jp](http://www.imasen.co.jp)



中期経営計画「Dream2020」フェーズ3について

2012年度よりスタートいたしました中期経営計画「Dream 2020」は今年度より最終のフェーズ3に移行します。

グローバル価格競争の激化、アジアの成長率鈍化など、外部環境が大きく変化したことに対して、量から質を重視し、フェーズ3としては新たな経営目標営業利益率6%を掲げ、取り組んでまいります。

フェーズ3はフェーズ2の重点展開方針を継続実施するとともに、収益体質改善に向けて事業の選択と集中を図ってまいります。

# Dream 2020

フェーズ 1 (2012~2014年度)	フェーズ 2 (2015~2017年度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>①研究開発の強化</li> <li>②人材育成とグローバル活用</li> <li>③グローバルでの事業拡大</li> <li>④国内事業の再編</li> <li>⑤非自動車領域の事業開発</li> <li>⑥グローバルマネジメント確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①技術革新</li> <li>②国内事業の再構築</li> <li>③グローバル拠点最適化</li> <li>④人材育成</li> </ul>

【フェーズ 3】2020年度目標  
営業利益率 6.0%

フェーズ 3 (2018~2020年度)

- ①技術革新  
今仙グループの総力を結集させイノベーションを推進する【技術、造り、品質、管理】
- ②国内事業の再構築  
今後拡大が見込めない国内市場において事業、生産拠点をあるべき姿に再構築する【新規事業、生産拠点再編】
- ③グローバル拠点最適化  
グローバル拠点の競争力およびネットワークの強化を推進する
- ④人材育成  
グローバルでの人材育成を加速させ強化する
- ⑤事業の選択と集中  
リソースの適正配分により事業全体での収益体質強化を図る

具体的取り組み内容

①技術革新	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「環境・安全・快適」をキーワードに、人々の車の使い方に進化した価値を提供する。</li> <li>●保有技術を集結し、電子分野で新製品を開発する。</li> <li>●世界トップ品質の設計・加工技術を構築する。</li> </ul>
②国内事業の再構築	●国内拠点の再構築を進め、より効率的な生産体制を構築する。
③グローバル拠点最適化	●工程系列を見直しグローバルでの最適供給方法を確立する。
④人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グローバルに活躍できる人材を育成するため、教育を充実させる。</li> <li>●産学連携による最新技術の習得を推進する。</li> </ul>
⑤事業の選択と集中	●開発センターの活用、シナジーの創出、M&Aの柔軟検討を推進する。

CSR活動

犬山ハーフマラソンのボランティア活動に対して感謝状を受領

毎年2月に読売新聞社主催の犬山ハーフマラソンが開催され、2018年は9,087名の参加がありました。

当社は、2011年からボランティアスタッフとして大会参加者が利用できる発着地の手荷物預かり所において、手荷物の預かり・返却業務をしており、2018年も同様に参加いたしました。今回は40回目の節目ということもあり、大会事務局である読売新聞中部支社よりこれまでの長年にわたる協力に対して感謝状を受領いたしました。

今後も愛知県犬山市に本社がある企業として、地域での社会貢献活動を継続して行ってまいります。



感謝状と手荷物預かり所付近の様子

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (2017年3月31日)	当期末 (2018年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	50,811	56,523
固定資産	31,222	30,908
<b>資産合計</b>	<b>82,033</b>	<b>87,431</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	26,720	28,676
固定負債	8,978	7,937
<b>負債合計</b>	<b>35,698</b>	<b>36,613</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	42,717	45,574
その他の包括利益累計額	3,192	4,903
非支配株主持分	425	339
<b>純資産合計</b>	<b>46,335</b>	<b>50,817</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>82,033</b>	<b>87,431</b>

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

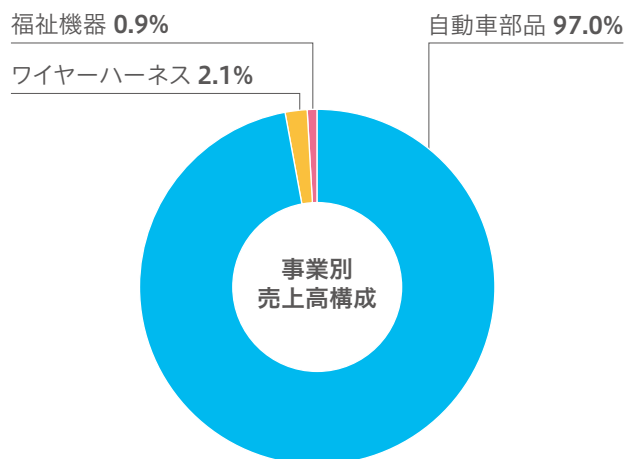
科目	前期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)	当期 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)
<b>売上高</b>	<b>110,275</b>	<b>117,339</b>
売上原価	98,183	104,989
売上総利益	12,091	12,349
販売費及び一般管理費	9,421	9,067
<b>営業利益</b>	<b>2,670</b>	<b>3,281</b>
営業外収益	412	586
営業外費用	1,036	467
<b>経常利益</b>	<b>2,047</b>	<b>3,400</b>
特別利益	49	59
特別損失	96	26
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>2,000</b>	<b>3,434</b>
法人税等	366	444
<b>当期純利益</b>	<b>1,633</b>	<b>2,989</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	65	110
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>1,567</b>	<b>2,878</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)	当期 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	4,182	7,220
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,634	△3,478
財務活動による キャッシュ・フロー	△3,538	△2,579
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△457	67
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△2,448	1,229
現金及び現金同等物の 期首残高	12,131	9,683
現金及び現金同等物の 期末残高	9,683	10,912

### 事業別売上高構成



## 自動車部品関連事業

売上高 113,765百万円

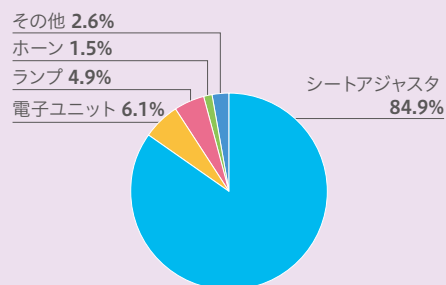
前期比 6.7%増

営業利益 3,440百万円

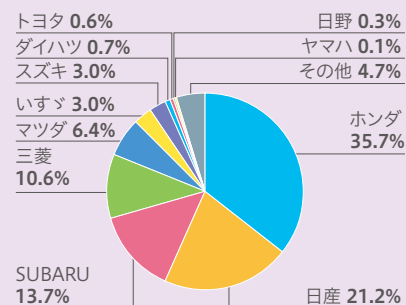
前期比 21.1%増

北米で生産減少したものの、国内、アジアでの生産増加などにより、増収増益となりました

### 製品別売上高構成



### 販売先系列別売上高構成



## 会社概要 (2018年3月31日現在)

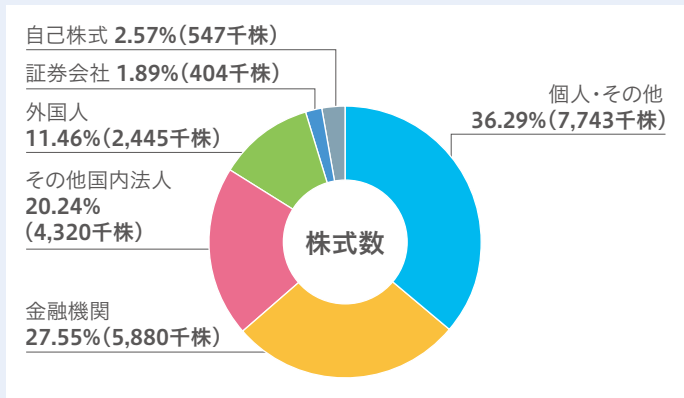
社名	株式会社 今仙電機製作所 Imasen Electric Industrial Co.,Ltd.
設立	1939年2月1日
資本金	6,297百万円
主な事業内容	自動車用機構製品及び電装製品の製造・販売
従業員数	4,862名(連結)
本社所在地	愛知県犬山市宇柿畑1番地
開発拠点及び営業所	本社テクニカルセンター/IMASENグローバル開発センター 東京支店/栃木テクニカルセンター 広島テクニカルセンター/ドイツ支店
工場	名古屋工場/岐阜工場/八百津工場 春里工場/可児工場/岡山工場/広島工場 (株式会社九州イマセン)
海外拠点	台湾/フィリピン/米国/中国/タイ/インド メキシコ/インドネシア

## 株式情報 (2018年3月31日現在)

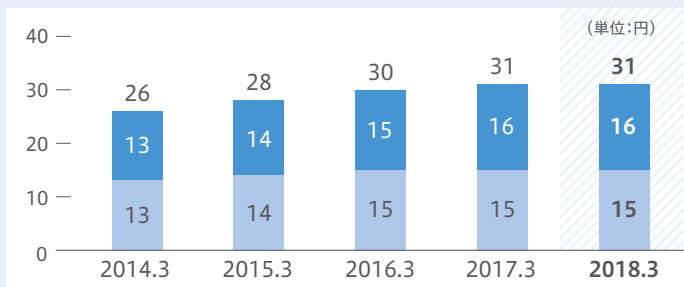
### 株式の状況

発行可能株式総数	49,195,000株
発行済株式の総数	21,341,152株
株主数	6,597名

### 所有者別分布状況



### 配当金の推移



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当:毎年3月31日 中間配当:毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

## 役員 (2018年3月31日現在)

代表取締役会長	若山 恭二
代表取締役社長執行役員	足立 隆
取締役常務執行役員	富田 雅博
取締役常務執行役員	佐竹 克幸
取締役執行役員	櫻井 孝充
取締役執行役員	丹羽 良仁
社外取締役	永井 康雄
社外取締役	鈴木 雄二
常勤監査役	真下 英敏
監査役	阿部 隆行
社外監査役	宮澤 俊夫
社外監査役	長谷川 周義

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
本田技研工業株式会社	1,066	5.12
IMASEN取引先持株会	915	4.40
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	852	4.10
ヤマハ発動機株式会社	613	2.95
今仙電機従業員持株会	611	2.94
株式会社三菱東京UFJ銀行	605	2.90
株式会社第三銀行	505	2.42
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	442	2.12
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	409	1.97
CACEIS BANK LUXEMBOURG BRANCH/U CITS CLIENTS	394	1.89

- (注) 1. 当社は、自己株式547千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式(547千株)を控除して計算しております。  
3. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日をもって社名を株式会社三菱UFJ銀行に変更しております。

## 当社ホームページのご案内



様々な情報を  
ホームページで  
ご覧になれます。  
[www.imasen.co.jp](http://www.imasen.co.jp)

同事務取扱場所	愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031(フリーダイヤル)
郵便物送付先 電話照会先	
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
証券コード	7266(東京・名古屋証券取引所市場第一部)